

自治基本条例（仮称）に関する懇談会 傍聴者アンケート

第11回実施分（平成29年7月25日開催） 自由記載欄

- 今回の懇談会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。
- ・ 議会の行政監視の役割を強化する制度としてオンブズマン制度を位置づけ／活用することは、画期的な試みとなるはずですが。問題はむしろ、現在の議員の資質・能力にありませんか？天野先生の肯定的な評価はありますが、陳情＋請願の審議をみていると行政に関わる重要な案件ほど党派性にしばられていて、十分な監視ができない点があるように思われます。
 - ・ 活発に議論されている様子に、いつも感銘を受けます。
- その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。
- ・ 「市民オンブズマン」と北欧・英国等における「オンブズマン制度」を混同する議論が研究者から出てくるとは、正直驚きました。／議会における議員の活動についてのチェックは、第三者機関を置くべきでしょう。／いずれにしても議会側がマジメに取り組むべき課題としてオンブズマン制度を検討してほしいと思います。職業倫理の話では、武蔵野市のガイドラインに「公正」（フェアネス）という理念が明記されていないことに驚きました。市長については、「アカウンタビリティ」をどう折り込むかが課題ではないでしょうか？
 - ・ 初めの頃の市民参加、情報公開等の大きな柱となるテーマについては、議論することが不可欠であったと思う。が…行政組織や行政評価・事務事業評価等の細目にわたって網羅的に議論することが必要なか疑問を感じる。「懇談会」が骨子案づくりの作業部会のように位置づくのでは、今後、市民議論を盛り上げることはできなくなると心配になってきた。条例の必要性を市民がどれほど感じるか、疑問が大きくなっている。

（※文字及び文章はアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。）